



平成30年11月5日

各位

上場会社名 ヤマエ久野株式会社
 代表者 代表取締役社長 大森 礼仁
 (コード番号 8108)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理統轄 矢野 友敬
 (TEL 092-474-0711)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	210,000	1,900	2,100	1,200	59.53
今回修正予想(B)	242,000	1,200	1,400	600	29.77
増減額(B-A)	32,000	△700	△700	△600	
増減率(%)	15.2	△36.8	△33.3	△50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	200,582	1,188	1,353	2,265	112.38

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	470,000	4,800	5,300	3,300	163.71
今回修正予想(B)	480,000	4,000	4,500	2,300	114.10
増減額(B-A)	10,000	△800	△800	△1,000	
増減率(%)	2.1	△16.7	△15.1	△30.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	428,349	3,153	3,554	3,118	154.71

修正の理由

平成31年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は、既存事業が堅調に推移したことで、昨年少子会社化した企業の業績が加わったことにより、前回予想を上回る見込みです。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、人手不足に起因する製造現場や物流現場での人件費高騰と原油高による配達費の高騰が大きく影響し、前回予想を下回る見込みです。

通期の業績につきましては、第2四半期連結累計期間に引き続き、売上高は堅調に推移することが見込まれ、前回予想を上回る見込みです。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第2四半期連結累計期間同様に、人件費及び配達費の高騰が継続することが見込まれることから、前回予想を下回る見込みです。

このような厳しい環境が予測される中、当企業グループでは、AI・情報システムや自動搬送機等先進技術を積極的に導入することで生産性向上を図り、収益の確保に努めてまいります。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上